

# まちづくりアクティビティ 教師用ガイド



LEGO® Education  
Preschool

SO MANY WAYS TO  
LEARN, TOGETHER



対象製品 45021, 45010, 45006

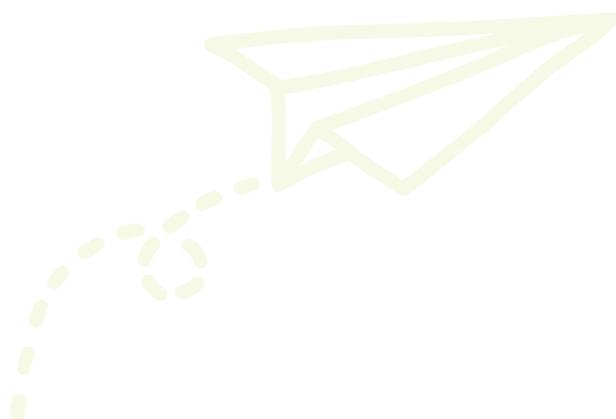
LEGOeducation.jp



education

# 目次

はじめに .....	3
<b>アクティビティ</b>	
アクティビティ 1 - <b>カラフルタウン</b> .....	4
アクティビティ 2 - <b>わたしの家</b> .....	5
アクティビティ 3 - <b>いろんなお仕事</b> .....	6
アクティビティ 4 - <b>病院のお仕事</b> .....	7
アクティビティ 5 - <b>お買い物</b> .....	8
アクティビティ 6 - <b>ごはんを食べるところ</b> .....	9
アクティビティ 7 - <b>まちの乗り物</b> .....	10
アクティビティ 8 - <b>幼稚園、保育園での1日</b> .....	11
アクティビティ 9 - <b>運動</b> .....	12
アクティビティ 10 - <b>まちのツアー</b> .....	13
アクティビティ 11 - <b>私の親せき</b> .....	14
アクティビティ 12 - <b>助け合い</b> .....	15
<b>付録</b> .....	16



# まちづくりアクティビティ 教師用ガイド

## 対象者

このまちづくりアクティビティは、3～5歳の幼稚園・保育園の子どもたちを対象にしています。子どもたちの社会性を養い、周囲の世界に対する理解を深めることを目的としています。

## 目的

まちづくりアクティビティは、遊び要素あふれる学習体験を提供します。子どもたちは、話し合い、組み立て、ごっこ遊び、アイデアの共有を通じて、まちについて学ぶことができます。ここに含まれるアクティビティで、子どもたちはスーパーや保育園・幼稚園に行くなど、日常生活のごっこ遊びをしながら、まちのさまざまな人の役割について学ぶことができます。人、場所、出来事を話し合うこうしたアクティビティを通じて、子どもたちの語彙を増やし、状況に即して言葉の理解を深めることができます。身近な世界を探索する機会を子どもたちに提供するため、それほどなじみのない設定があるアクティビティもあります。各アクティビティは少人数のグループに最適です。原則的に、子どもたちはペアになってアクティビティを実施しますが、年齢的にまだ協力し合うことが難しい場合は、個別に取り組み、他の人と共有したり助け合ったりする練習をします。各アクティビティのConnect（結びつける）フェーズは、集団遊びのような状況で実施でき、これに続く組み立てのアクティビティは少人数のグループで実施できます。

## まちづくりアクティビティを通じて、子どもたちは以下のことを学びます。

- 役割と責任を理解する
- 自分への自信を持つ
- ごっこ遊び
- 共感する心を発達させる
- 問題解決

## このガイドで使用している教材について

本ガイドではレゴ。エデュケーションの、「カラフルタウンセット」(45021)、「わくわくじどうしゃセット」(45006)、「はたらく人たち」(45010)を使用しております。本ガイドには、12のアクティビティが掲載されており、これらのセットを使って、遊びながら学ぶ学習体験を生み出します。



本ガイドのダウンロード版



45021 カラフルタウンセット



45010 はたらく人たち



45006 わくわくじどうしゃセット

## アクティビティ 1 カラフルタウン

園児 12人まで

### Connect (結びつける)

これからまちを作ると子どもたちに伝えます。まちとは、人々が住み、働く場所であると説明します。

住んでいるまちの場所をいくつか子どもたちに挙げてもらいます。難しそうであれば、例をいくつか挙げます。さまざまな仕事や人々が色々な場所に行く理由について話しましょう。アクティビティ 1用のレゴ<sup>®</sup> デュプロ<sup>®</sup> のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問を試みましょう。

- これはどんな写真ですか？
- 写真の場所には誰が行きますか？
- そこで何をしますか？

### Construct (組み立てる)

- これからまちを組み立てると子どもたちに伝えます。
- 子どもたちをペアに分けます。
- 各ペアに組み立てたいまちの中の場所を決めてもらいます。アイデアがわくように、写真や組み立てカードを使ってもよいでしょう。

### Contemplate (よく考える)

組み立てたモデルを子どもたちが全部組み合わせられるような空間を作ります。モデルがまちのさまざまな場所を表すよう、アレンジを加えてみるように子どもたちを促します。たとえば次の質問を試みましょう。

- 組み立てたまちの中の場所は、なぜ重要ですか？
- 組み立てたまちの中の場所がなかったら、どうなりますか？
- まちのどこで働きたいですか？

### Continue (さらに続ける)

子どもたちに、組み立てたまちに名前を付けてもらいます。まちに足りないものがないかどうか子どもたちに尋ねて、付け加えてもらいます。通りや標識をまちに加えるよう、促します。レゴデュプロのお人形と乗り物を使って、ごっこ遊びをする時間をとりましょう。

ねらい

子どもたちが、まちの中のさまざまな場所や人について、話すことができるようになる。

語彙

まち、警察署、消防署、ガソリンスタンド、スーパー、おみせ、銀行



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 2 わたしの家

園児 12 人まで

### Connect (結びつける)

これから家を組み立てると子どもたちに伝えます。家とは人々（時にはそのペット）が暮らす場所であると説明します。さまざまなタイプの 家について話します（アパート、一軒屋 など）。家は雨、寒さ、熱さ、風から人々を守ると説明します。家は、食べ物や持ち物を保管する場所でもあります。

ご近所とは、自分が住んでいるお家の近くの別のお家のことを言い、そこに住む人々は「ご近所さん」と呼ばれます。アクティビティ 2用のレゴ、デュプロ、のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これはどんな写真ですか？
- あなたの家には何がありますか？
- 人やペットが外でなく家の中に住むのはなぜですか？

### Construct (組み立てる)

- これから家を組み立てて、それを組み合わせてご近所を作りましょうと子どもたちに伝えます。
- 子どもたちをペアに分けます。
- 子どもたちにペアで協力して家を組み立ててもらいます。子どもたちは、家の中か外のどちらを組み立てるか選ぶことができます。

### Contemplate (よく考える)

組み立てたモデルを子どもたちが全部組み合わせられるような空間を作ります。子どもたちにモデルを組み合わせて、ご近所を作るよう、声をかけます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- 組み立てたお家の中で一番好きな場所はどこですか？ その理由は？
- レゴデュプロのおうちに特別な場所を組み立てましたか？付け加えたいものはありますか？
- 組み立てた家の物で、ほかの家にもある物にはどんな物がありますか？違う物としては、どんなものがありますか？
- 子どもたちに数分与えて、組み立てた家に新しい特徴を付け加えてもらいます。

### Continue (さらに続ける)

レゴデュプロのお人形と乗り物を使って、ごっこ遊びをする時間をとりましょう。ご近所を訪ね、家の中を見学していかお願いしてみるよう、子どもたちを促します。

## 学習のねらい

子どもたちが、お家の役割や特徴、そこでの生活について認識できるようになる。

## 語彙

家、アパート、ご近所さん



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 3 いろいろなお仕事

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

まちのお仕事について、どのようなものがあるか探してみようと子どもたちに伝えます。

まちにはみんなが楽しく安全に暮らせるように、みんなを助けてくれる様々なお仕事をしている人々がいることを説明します。例として、消防士やお巡りさん、お店の店員さん、お医者さん、工事現場の人などです。まちを住みやすい場所にすうえで、みんな重要な役割を果たしていることを子どもたちに伝えます。アクティビティ 3 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これは、何をしている写真ですか？
- みなさんのまわりにはまちのみんなを助けてくれる人がいますか？

### Construct (組み立てる)

- いろいろな人が仕事をしている場面を組み立てましょうと子どもたちに伝えます。
- 子どもたちをペアに分けます。
- レゴデュプロのお人形を各ペアに配り、そのお人形がまちの人々を助けているようすを示す場面を組み立ててもらいます。
- 色々な乗り物セットを使うよう、子どもたちを促します。

### Contemplate (よく考える)

各ペアに、組み立てたモデルについて話すように言います。たとえば次の質問をしてみましょう。

- あなたの組み立てたお仕事の人は何と呼ばれますか？
- その人はどのようにまちのみんなを助けてくれますか？
- その人がまちにいなかったとしたら、どうなりますか？

### Continue (さらに続ける)

子どもたちにごっこ遊びをしてもらいます。レゴデュプロのお人形が助けを必要としています。どうしたら助けられるか、ごっこ遊びを通して一緒に考えて見ます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- このお人形はどんな助けが必要ですか？
- お人形の問題を解決できるのはどのお仕事の人ですか？
- あなたはどのお仕事の人になりたいですか？ その理由は？

## 学習のねらい

子どもたちは、色々な職業の名前を挙げ、その役割について話すことができるようになります。

## 語彙

まち、消防士、お巡りさん、店員さん、お医者さん、工事現場の人



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 4 病院のお仕事

園児 8人まで

### Connect (結びつける)

病院や歯医者さんにはどのようなお仕事があるのか、調べてみましょうと子どもたちに伝えます。

お医者さん、看護婦さん、歯医者さんは、私たちが健康でいられる手助けをしてくれると説明します。健康とは、自分の体を十分に動かすことができ、明るく伸び伸びと行動できることであると子どもたちに伝えます。

みんながお医者さんや歯医者さんに行く理由はさまざまであると子どもたちに説明します。治療を受けるためや、健康上の問題を助けてもらうために行くことがあります。このほかに、検診のために行くこともあります。幼稚園・保育園での検診の話も交えながら具体的に説明します。聴診器、ライト、体温計などの道具について話すのもよいでしょう。

出産をするために病院に行くこともあります。看護婦さんやお医者さんはお母さんと赤ちゃんを診察して、健康であることを確認します。

アクティビティ 4 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問を試みましょう。

- 病院、クリニック、歯医者に行ったことがありますか？ なぜ行きましたか？ 誰が働いていましたか？
- これはどこの写真ですか？
- これは、何をしている写真ですか？

### Construct (組み立てる)

- これから、歯医者さんやお医者さんなど、医療に関係する場所を組み立てると子どもたちに伝えます。
- 子どもたちをペアに分けます。
- 組み立てたい医療に関係する場所をペアに決めてもらいます。アイデアがわくように、組み立てカードや写真を使ってもよいでしょう。

### Contemplate (よく考える)

- 各ペアに、組み立てたモデルを紹介して、その場所でお医者さんや歯医者さんが何をしているか説明してもらいます。

### Continue (さらに続ける)

レゴ® デュプロ® のお人形と乗り物を使って、自分たちが組み立てた医療に関係する場所で起きていることを演じてもらいます。

## 学習のねらい

子どもたちは、お医者さんや歯医者さんがどんな仕事をするか説明できるようになります。

## 語彙

お医者さん、看護婦さん、歯医者さん、病院、健康、検診、診察、聴診器、体温計



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 5

# お買い物

### 園児 8人まで

### Connect (結びつける)

これからお店やさんごっこをすることを子どもたちに伝えましょう。

子どもたちとお買い物記憶ゲームをします。まず、先生が「私はお店 に行って、…を買いました」と言ったら、次に誰か子どもたちの1人を指名して、先生が買った商品にもう1つ別の商品の名前を加えてこのセリフを繰り返してもらいます。前の人までの商品を全部言って、1人1つ商品を追加していき、一巡するまでゲームを続けます。

- これはどんな写真ですか？
- あなたはパパやママとお買い物に行きますか？行く場合、どこに行って、何を買いますか？
- 商品の種類に応じて、お買い物に行くそれぞれのお店の名前がわかりますか？（子どもたちは、「パン屋」「スーパー」などお店の種類を挙げることも、具体的な店舗名を挙げることもあります）。

### Construct (組み立てる)

- これから、家族のために必要な商品を組み立てると子どもたちに伝えます。
- 子どもたちをペアに分けます。
- ペアになったお友だちといっしょに、3つの商品を組み立ててもらいます。

### Contemplate (よく考える)

子どもたちに組み立てた商品を紹介してもらいます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- どんな商品を組み立てましたか？
- その商品は、何のために使いますか？
- その商品はどんなお店で売られていますか？

### Continue (さらに続ける)

全員で、売っているお店の種類に基づき、すべての商品を分類します（食品はすべて「スーパー」に分類するなど）。ペアになって、1種類のお店を組み立てるように、子どもたちに指示します。色々な種類のお店を選ぶよう、子どもたちに伝えます。お店を組み立てたら、そのお店で売るのにふさわしい商品を3つ置いてもらいます。レゴデュプロのお人形を使って、買い物のごっこ遊びをする時間をとりましょう。

## 学習のねらい

子どもたちは、家で必要な商品について話し合い、お買い物についてイメージが膨らむようになります。

## 語彙

買い物、商品



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 6 ごはんを食べるところ

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

これからごはんを食べるところについて考えてみましょうと子どもたちに伝えます。さまざまなごはんを食べるところについて話しましょう (幼稚園、保育園、レストラン、食堂、屋台)。アクティビティ 6 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これはどんなごはんを食べるところの写真ですか？
- 家族といっしょにお外で食べることはありますか？ どこによく行きますか？ お気に入りはありませんか？
- あなたのまちには、ほかにどんなごはんを食べるところがありますか？ どんなごはんを食べるところがまちにあったらいいですか？

### Construct (組み立てる)

- ごはんを食べるところを組み立てましょうと子どもたちに伝えます。レストランでも屋台でも構いません。
- 子どもたちをペアに分けます。
- ペアになったお友だちといっしょに、ごはんを食べる場所を組み立ててもらいます

### Contemplate (よく考える)

子どもたちにモデルを紹介してもらいます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- その場所を選んだのはなぜですか？
- そこではどんなものを食べられますか？

### Continue (さらに続ける)

ごはんを食べるところで、お客さんと店員さんが交わしそうな言葉について話しましょう。レゴ デュプロのお人形を使って、お店やさんのごっこ遊びをペアでしてもらいます。

## 学習のねらい

子どもたちは、さまざまなごはんを食べるところを共有し、そこでお客さんと店員さんがどんなことをするのか知ることができるようになります。

## 語彙

レストラン、屋台、食堂、  
店員さん、お客さん



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 7 まちの乗り物

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

これからまちの乗り物について調べてみましょうと子どもたちに伝えます。乗り物とは、ある場所から別の場所への移動手段であると説明します。まちの乗り物には、各家庭の車のほかに、町の大勢の人がある場所から別の場所に一度に移動できる手段も含まれると、子どもたちに伝えます。電車の駅とバス停には、通常切符売り場、待合所、売店があると説明します。電車やバスに乗るには、切符が必要なことを子どもたちに教えます。電車やバスは時刻表に従って運行します。時刻表には電車やバスが来る時間が書いてあります。時刻表には、電車やバスをどこで乗り降りできるかも書いてあります。電車やバスはある停車駅/バス停から次の場所に移動します。各停車駅/バス停で、乗客は電車やバスに乗ったり、電車やバスから降りたりします。子どもたちと電車ゲームをします。1 人の子どもに電車の運転手になってもらいます。教室にいくつか駅を設けてから、残りの子どもたちをグループに分けて、各グループに別の駅で待つように言います。電車の運転手に、各駅に行くように言います。最初の駅の子どもたちに、電車に乗るように言います。ほかの駅に電車が止まったら、ほかの子どもたちが乗る間に、電車から降りてもいいと言います。

アクティビティ 7 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これは何の写真ですか？
- 公共交通機関の例を挙げられる人はいますか？
- 列車の駅かバス停に行ったことがありますか？ そこには何がありましたか？

### Construct (組み立てる)

- 子どもたちをペアに分けます。
- 各ペアに、電車の駅かバス停の一部を組み立ててもらいます。アイデアがわくように、組み立てカードや写真を使ってもよいでしょう。
- 各ペアが組み立てるものを選ぶ手助けをして、駅やバス停のさまざまな部分を組み立てるようにします（切符売り場、売店、待合所、電車、バスなど）。

### Contemplate (よく考える)

組み立てたモデルを子どもたちが全部組み合わせられるような空間を作ります。子どもたちに組み立てたモデルを紹介してもらいます。まちの乗り物がなぜ大事なのかを話します（たとえば、公害が減る、渋滞が減る、自分の車を持たなくても移動できるなど）。

- あなたが組み立てた駅の部分はなぜ重要なのでしょうか？
- まちの乗り物はなぜ重要なのでしょうか？
- バスや電車に乗る代わりに徒歩や自転車に乗る方が良いのはどんな時でしょうか？

### Continue (さらに続ける)

遊びに使うレゴ® デュプロ® のお人形を 1 つか 2 つ選ぶように子どもたちに言います。運転手と乗客の役を順番に演じるようにペアを促します。切符を買ったり、電車やバスに乗ったりするごっこ遊びを提案しましょう。

## 学習のねらい

子どもたちは、さまざまな種類のまちの乗り物を説明できるようになります。

## 語彙

乗り物、電車、駅、バス停、切符売り場、時刻表



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 8 幼稚園、保育園での1日 園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

これから、自分たちの保育園・幼稚園をいっしょに組み立てましょうと子どもたちに伝えます。保育園・幼稚園のさまざまな場所について話します。かばんを置く場所、教室、お昼寝ルーム、おやつを食べるところ、お手洗い、運動場など、必要に応じて例を挙げます。あるいは、子どもたちを連れて園内の見学をします。それぞれの場所を指でさしてもらいましょう。

毎日やる活動や時々しかやらない活動について話しをしましょう。毎日やる活動は、日課の一部だと説明します。クラス活動、お手洗い、おやつ時間、お話し時間、遊びの時間など、必要に応じて例を挙げます。アクティビティ 8 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これは何の写真ですか？ これは、1 日のうちのどの部分の写真だと思いますか？
- 幼稚園、保育園ではどんなことをしますか？ 到着したら、一番最初に何をしますか？ 次に何をしますか？
- 保育園・幼稚園で日課の一部になっている活動にはほかにどんなものがありますか？

### Construct (組み立てる)

- 自分たちの保育園・幼稚園の中にある場所をひとつ組み立てるように子どもたちに指示します。その場所にある物（テーブル、椅子、洗面台、トイレ、遊び道具など）も作ってもらいます。
- 子どもたちをペアに分けます。
- ペアになったお友だちといっしょに、保育園・幼稚園の中にある場所をひとつを組み立ててもらいます。アイデアがわくように、組み立てカードや写真を使ってもよいでしょう。

### Contemplate (よく考える)

組み立てたモデルを子どもたちが全部組み合わせて、幼稚園・保育園全体を作れるような空間を作ります。子どもたちに組み立てたモデルを紹介してもらいます。全員が紹介し終わったら、毎日やるほかの活動があるかどうか、どうしてこのように色々な活動をやるのかについて話します。たとえば次の質問をしてみましょう。

- どの場所を組み立てましたか？
- その場所ではどんな活動をしますか？

### Continue (さらに続ける)

レゴ デュプロのお人形を使って、保育園・幼稚園での 1 日の活動を順を追ってごっこ遊びする時間をとりましょう。保育園・幼稚園でどのような新しい活動をやりたいかについて話し合います。その活動がどうして重要か、なぜ現在やっていないのかについて子どもたちと話します。

## 学習のねらい

子どもたちは、自分の幼稚園・保育園での活動について説明できるようになります。

## 語彙

活動、毎日、日課



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 9 運動

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

これから、運動についてのお話しをして、みんなの好きな運動をブロックで表してもらうことを子どもたちに伝えます。運動とは、身体を使う活動であると説明します。例を挙げましょう。サイクリング、水泳、バスケットボール、ランニング、セーリング、登山、カーレース（運転）などが考えられます。

当てっこゲームをします。子どもたちに運動を 1 つ思い浮かべて、何も言わずに、その運動をジェスチャーで示すように指示します。ほかの子どもたちに、どの運動か当ててもらいます。ジェスチャーをする順番が一巡するまで、ゲームを続けます。

エクササイズや運動は、身体を健康に保つために必要であると説明します。運動は気分を明るくするのにも役立ちます。お医者さんは、健康な人が適当な量の運動を毎日することをすすめています。運動は 1 人でやることも、ほかに人と一緒にやることもできると説明します。アクティビティ 9 用のレゴ、デュプロ、のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これは、何をしている写真ですか？
- あなたはどんな運動をしていますか？
- 運動をすると、どうしてよいのでしょうか？
- 何かの運動のチームに加わったことがありますか？ それはどんな体験でしたか？ チームで運動をすることにはどんなよさがありますか？

### Construct (組み立てる)

- 子どもたちをペアに分けます。
- 各ペアに好きな運動かやってみたい運動を組み立ててもらいます。アイデアがわくように、写真を使ってもよいでしょう。

### Contemplate (よく考える)

各ペアに、自分の運動をグループに紹介し、その運動が好きな理由について話してもらいます。紹介した後、子どもたちがやったことがある運動ややってみたい運動、やりたくない運動について話します。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これはどんな運動ですか？
- お友だちとする運動ですか？一人でもできる運動ですか？
- その運動が好きな（嫌いな）理由は？

### Continue (さらに続ける)

チームで運動をする際のルールについて話します。例を挙げましょう（選手はお互いのユニフォームをつかんではいけない、ゴールすると何点入るか、選手はコートやフィールドの枠から出てはいけないなど）。

子どもたちをペアに分けて、レゴ デュプロのお人形を使ってチームでの運動のごっこ遊びをするように指示します。知っているルールに従うよう、子どもたちを促します。独自のルールを作ることができます。

## 学習のねらい

子どもたちは、さまざまな種類の運動を知り、それが健康に役に立つことを学びます。

## 語彙

運動、健康、チーム、ルール



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 10 まちのツアー

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

これからまちのランドマークになるものを調べて組み立てて見ましょうと子どもたちに伝えます。ランドマークとは、旅行者が訪問したい重要な場所だと説明します。旅行者とは、色々な場所を旅行する人だと説明します。ランドマークには、彫像、噴水、建物、橋、自然の地形（たとえばグランドキャニオン）などが含まれると説明します。例を挙げましょう。フランスのパリにあるエッフェル塔、イギリスのロンドンにあるビッグ・ベンと呼ばれる大きな時計、アメリカのサンフランシスコにあるゴールデン・ゲート・ブリッジなどが考えられます。彫像や公園など、もっと小さな場所にもランドマークはあり子どもたちに教えます。自分の町の興味深いものについて子どもたちに聞いてみましょう。アクティビティ 10 用のレゴ、デュプロ、のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- これは何の写真ですか？（バスの乗客は、写真の町の観光ツアーをしているところだと説明します。高い建物、噴水、公園を指で示しましょう）。
- あなたが旅行者に見てもらいたい特別な場所はどこですか？

### Construct (組み立てる)

- 自分のまちのツアーを計画して見ましょうと子どもたちに伝えます。どの場所を組み立てるか子どもたちの意見がまとまるように手助けします。
- 美術館や遊園地といった自分のまちに新しいランドマークを作ることできます。
- 子どもたちをペアに分け、実在する場所か想像上の場所を組み立ててもらいます。

### Contemplate (よく考える)

組み立てたモデルを子どもたちが全部組み合わせられるような空間を作ります。各ペアに自分のランドマークを紹介し、そのランドマークについて知っていることを話してもらいます。新しいランドマークを作り出した場合、その歴史も考えてもらいます。たとえば次の質問をしてみましょう。

- あなたのランドマークは町にとってなぜ重要なのでしょうか？
- 旅行者はそのランドマークをどうして訪れたいのでしょうか？
- そのランドマークについて旅行者にどう説明しますか？

### Continue (さらに続ける)

各ペアにまちの観光ツアー用の乗り物を組み立てるように言います。レゴ デュプロのお人形を使って、自分のまちを見て回るごっこ遊び（ガイドと見学者役に分かれる）をしてもらいます。順番に違う場所を紹介し、ガイドさんに質問をするように、子どもたちに指示します。

## 学習のねらい

子どもたちは、自分のまちの重要な場所を知り、ツアーとはどんなものか理解できるようになります。

## 語彙

ランドマーク、ツアー、旅行者



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 11 私の親せき

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

これから親せきの集まりをテーマにブロックを組み立てましょうと子どもたちに伝えます。家族とはお互いに関係がある人々のグループだと説明します。おじいちゃん、おばあちゃん、おばさん、おじさん、いとこなどは親せきであると説明します。

アクティビティ 11 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せませう。たとえば次の質問を試みましょう。

- これは何をしている写真ですか？（必要に応じて、この写真は家族が集合した場面だと説明しましょう。バーベキューをしているところのようだ子どもたちに伝えます）。
- これは誰の写真ですか？（必要に応じて、おばあさん、おじいさん、お母さん、お父さん、息子、娘、赤ちゃんのほか、おばさん、おじさん、いとこ、友だちなどほかの家族のメンバーがいると指摘します）。
- あなたはどれだけ頻りに親せきと会いますか？別の町、県、国で暮らしている家族はいますか？親せきといっしょに何をしますか？（誕生日や祝日を祝う、食事をする、ゲームをする、音楽を聴く、話しをするなど、必要に応じて例を挙げます）。

### Construct (組み立てる)

- 家族や親せきの集まる計画を立てようと子どもたちに伝えます。
- 親せきの集まりを開く場所、参加する人、やること、持参するものについて考えるよう、子どもたちに指示します。
- 子どもたちをペアに分けて、親せきの集まる場面をいっしょに組み立ててもらいます。

### Contemplate (よく考える)

各ペアに組み立てた場面を紹介してもらいます。ほかの子どもたちに、親せきの集まりの各場面の好きな点について話してもらいます。紹介し終わったら、子どもたちに場面を改良する時間を与えます。パーツを交換したり、共有するよう子どもたちを促します。たとえば次の質問を試みましょう。

- 親せきの集まりはどこで開かれていますか？親族の集まりには誰が参加していますか？みんな何をしていますか？
- この場面をもっと楽しくできる方法を思いついた人はいますか？

### Continue (さらに続ける)

ペアになったら、レゴデュプロのお人形を使って、別の親せきの集まりを訪れるごっこ遊びをしてもらいます。

## 学習のねらい

子どもたちは、家族と親せきの違いを理解し、親せきの集まりについて話せるようになります。

## 語彙

家族、親せき、集まり



拡大画像を付録でご覧いただけます

## アクティビティ 12 助け合い

園児 8 人まで

### Connect (結びつける)

人々が助け合う場面をブロックで表してみましよう子どもたちに伝えます。人々はさまざまな理由で手助けが必要な場合があると説明します。お年寄り、移動するのが困難であるため、手助けが必要な場合があると子どもたちに伝えます。たとえば、おじいさんは、庭仕事を手伝ってもらわなければならない場合があります。ほかにも助けを必要とする人がいることを説明します。病気になったり、お仕事がなくなったりなどの困難に直面しているためです。他の人を助けるひとつの方法として、食べ物を買うお金がない人に、食べ物をあげることが挙げられます。会いに行って、元気づけることも他の人を助ける方法であると子どもたちに伝えます。

アクティビティ 12 用のレゴ® デュプロ® のモデルの写真を見せます。たとえば次の質問を試してみましょう。

- これはどんな写真ですか？ 人々はどのように他の人を助けていますか？
- あなたは家でご両親を手伝っていますか？ どんな手伝いをしていますか？ なぜ手伝いをするのですか？
- 手助けが必要そうな他の人を知っていますか？ その人々はなぜ手助けが必要ですか？

### Construct (組み立てる)

- 子どもたちをペアに分けます。
- 各ペアに、誰かがほかの人を助けている場面を組み立ててもらいます。

### Contemplate (よく考える)

各ペアに自分のモデルを紹介し、人々が手助けを必要とする理由と他の人にどのように助けられたことがあるかを話してもらいます。たとえば次の質問を試してみましょう。

- 他の人を助けるのはなぜ重要なのでしょう？
- 他の人があなたを手伝ってくれるとき、どんな気持ちになりますか？

### Continue (さらに続ける)

各ペアに、別のペアと協力して、助ける人と助けってもらう人を演じてもらいます。1 組のペアは、レゴ® デュプロ® のお人形に手助けを必要としている演技をさせ、別のペアは自分たちのお人形を使って、手助けしている演技をさせます。

## 学習のねらい

子どもたちは、他の人を助ける理由とどうやって助けることができるかについて話せるようになります。

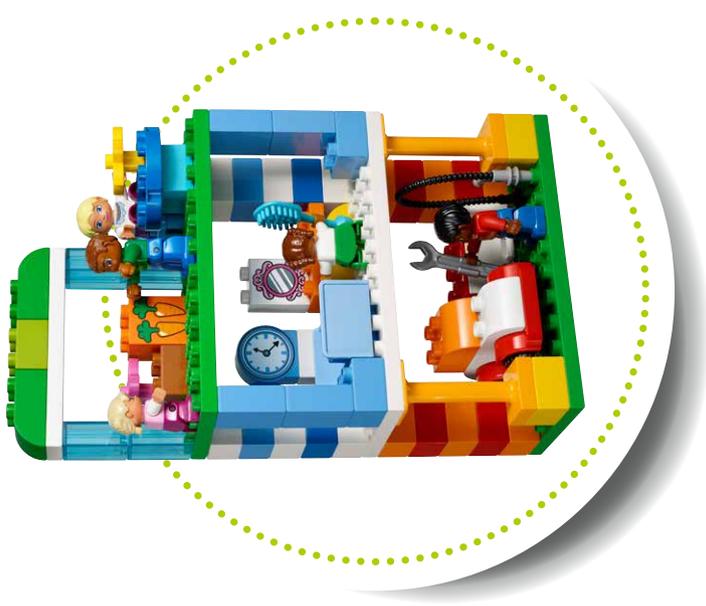
## 語彙

### 困難



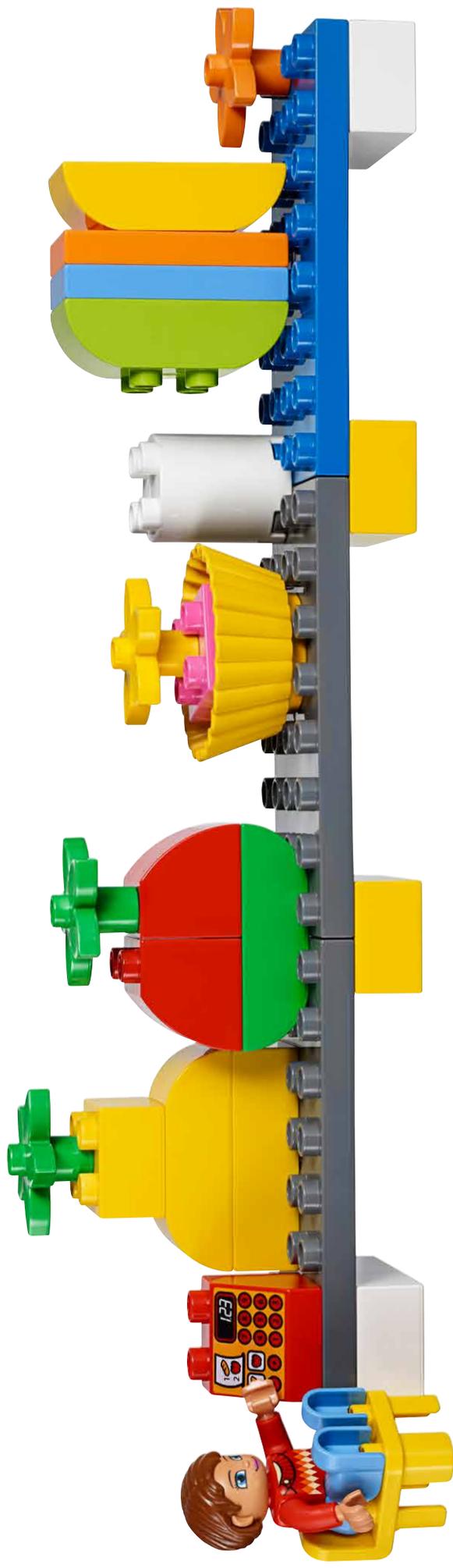
拡大画像を付録でご覧いただけます













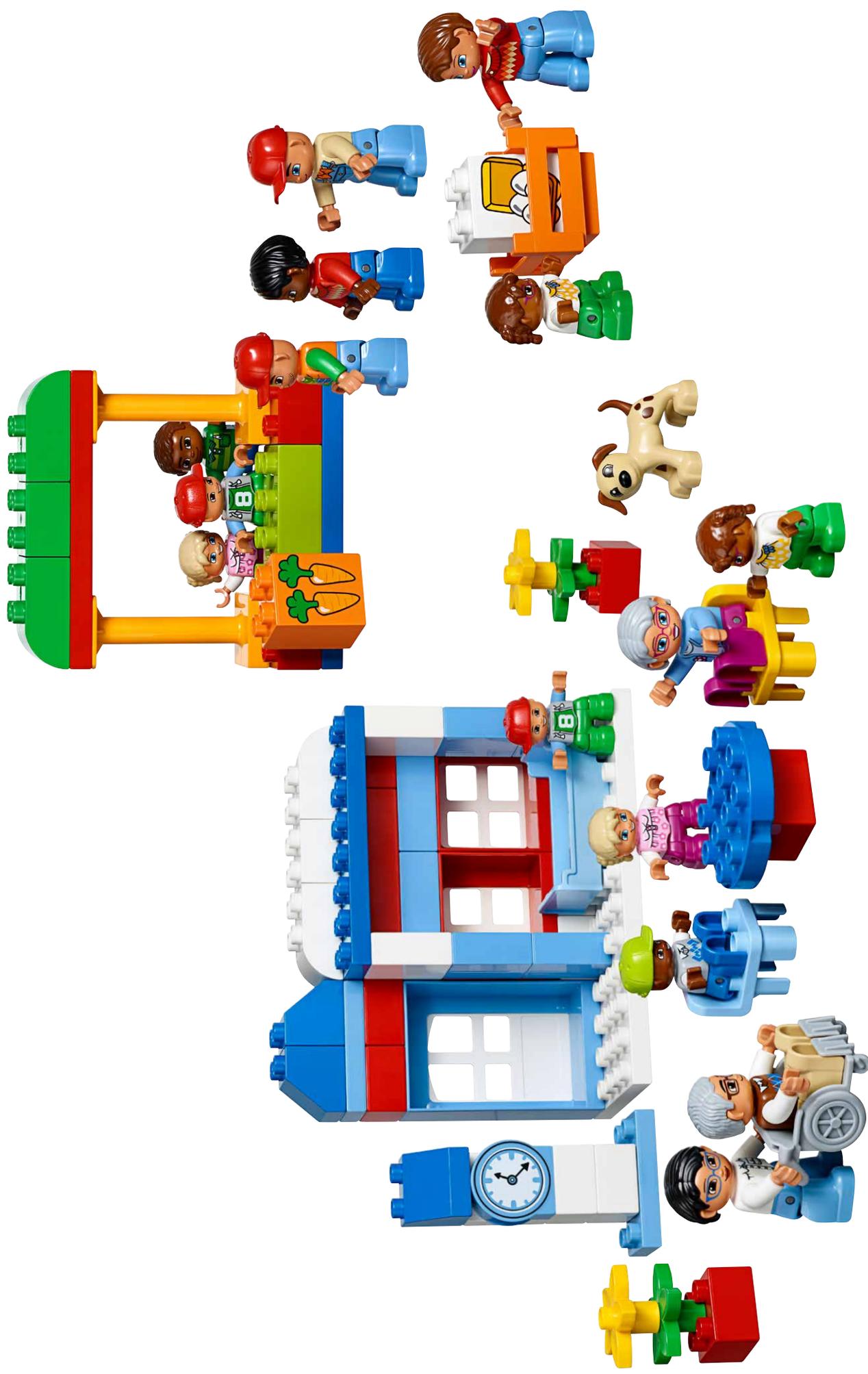












# 幼稚園・保育園での遊びを通じた学びをサポートします



レゴ®エデュケーションの保育園・幼稚園向け教材は、子どもの純粋な好奇心を刺激しながら、お友だちと協力して遊びながら学ぶための教材です。レゴエデュケーション製品を使った創作遊びを通じて、子どもたちは以下の様々なことを学ぶことができます。

- 意志疎通を図りながら、お友だちと協力し合う社会性を身に付けさせる
- 自分の能力を見出し、基礎的な生活スキルを習得させる
- 幼少期の成長に欠かせない次の4つの主要分野に重点を置き、小学校生活を送るうえで重要なスキルを発達させる。：創造性、社会性および情緒面の発達、算数および理科、言葉と読み書き